

会長 橋本正己
 新潟県山岳協会
 上越市南城町2-3-37
 TEL 025-524-7215

事務局 稲田春男
 柿崎町百木1023
 TEL 0255-36-3958

編集 新山協ニュース編集
 委員会代表 諏訪恵一
 TEL 0258-35-4373

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

橋本新体制スタート

会長に就任して

新潟県山岳協会会長

橋本正己



とはこういうことを言うのでしよう。

この度の役員改選にあたり、藤井会長が退任したいとのことのお気持ちに非常に固いことを知り、誠に残念でなりませんでした。

過日選考委員会の皆様より、協会長をとの話が有り、本当にビックリし、青天の霹靂とは、こう言うことを言うんだなど思っております。

私は経験、知識、行動力、何を取っても未熟でありますし、固く固くご辞退しました。結果一期(二年)限定でお引き受けることにいたしました。「首、蛇におじぎ」

しかし、不幸中の幸いと言いましようか、協会の運営等の扇の要となる理事長、事務局長、そして諸事業、諸活動に際して中心となつて参画し活動して頂く副会長、各専門委員長、委員の皆様には名実共に実力者をご選任いただき、大変心強く、そして感謝いたしております。私は知識、人脈もありません。従いまして藤井前会長が今までやってこられたような全方位的な交流や、それらに伴う大きな仕事を自分の自信もありませんが、拙い経験と知識の中で、与えられた仕事を粛々とこなしていく心積もりであります。

会の運営に関しては、数々の諸問題が山積しておること

は承知しております。若い方々にたいし新山協をどう魅力あるものにするか。又、資金面での硬直状態をどうするか。そして、当たり前のことでありますが、組織内部での報告、連絡、相談であります。

組織において報告、連絡、相談のいわゆる報連相(ホウレンソウ)が大切なのはいうまでもありません。しかし組織内の諸々の関係や人間関係で報連相がとかくおろそかになりがちです。限られた人数と限られた時間の中でチームプレーを行う協会において、報連相がおろそかになったら一大事です。

新山協が円滑に動くよう加盟各山岳協会、諸先輩、役員の皆様方のご支援とご協力を頂きながら微力ではありますが、一生懸命努力致す所存であります。加盟各山岳団体、そして新山協の益々の発展を祈念し就任のご挨拶とさせていただきます。

(高田ハイキングクラブ)

平成15年度 評議員会 開催される

桜が見頃となった4月12日、長岡市東泉閣において平成15年度評議員会が開催された。

議案審議に先立ち藤井会長から14年度事業が無事終了したことへのお礼と二巡目新潟国体ではクライミングのみの競技になることに伴う早急な施設整備の必要性について話があり、馬場顧問(現栃尾市長、元県議)からも推進協力者への依頼を含め協力体制を継続している旨の挨拶があった。その後、関川村山の会横山征平氏を議長に選出し議事に入った。

●第1号議案

平成14年度事業報告及び会計報告について

事務局から、各専門委員会の事業内容の報告、決算に関する詳細な収支報告があり、理事長による監査報告書の朗読の後慎重審議の結果、原案通り承認された。

●第2号議案

平成15年度事業計画及び収支予算について

事業計画について各専門委員長から年間事業が報告され、引き続き事務局長から収支予算について科目ごとの詳細説明があった。

その後質疑応答の後原案通り可決承認された。

●第3号議案

役員改選について理事長から候補者選考経緯の説明及び役員改選案の提案があった。

一部専門委員の所属委員会について質疑応答があったが、本人に再度確認後決定することを付記して全会一致で承認された。

役員改選が承認されたことを受け、藤井会長の退任挨拶、橋本新会長の就任挨拶があった。

●その他

渡辺正之競技部長の国体強化総括責任者指定の報告等が理事長から行われた。(詳細は別送の評議員会概要を参照ください)

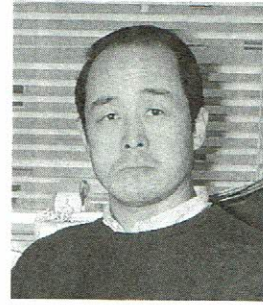
●本年より事業計画書を委員会別・月別一覧表にして見やすくしましたので、多数の参加をお願いいたします。

(諏訪 記)

理事長に就任して

新潟県山岳協会理事長

片桐 一夫



三月半ばの夜、遠藤前理事長から電話を頂き、びっくりしました。

二年前に、総務委員長をおおせつかり、せめて二期は働かせていただこうと考えていたところでした。

六年間在任されていた藤井前会長が退任され、橋本新会長体制となったことから、なんとか与えられた二年間は、及ばずながら支えていかなければと、思考を切り替えました。歴代の理事長をされた方々と比較できるほど事務能力も、思考力も及ばないところですが、会員皆様のご支援とご助言をいただければ、何とか勤めさせてもらえるかと思っ居ります。

さて、新潟県山岳協会規約を見ますと、第三章、目的を

は、「本会は、登山を通じ、県民体育の向上と加盟団体相互の親睦融和を図る。」と、あります。

本会は、十一の専門委員会を組織し、それぞれの専門委員が中心となって目的を達成するべく、邁進して頂いております。

特にクロースアップされるのが、国体委員会ですが、二順目新潟国体を視野に入れての作業は、並大抵のものではありません。従来から実施されていた『縦走競技』と『踏査競技』がなくなり、『クライミング競技』だけになる方向ですが、広く、会員各位から強力な選手を発掘していただきたいと念じております。

また、近年の登山者人口の中軸となつている「中高年登山者」が増えている現状から、指導技術委員会・中高年登山委員会が遭難対策委員会とともに、事故を防ぎ、安全登山・公德登山を目指してもらえよう、そしてその心を後継者に引き継ぐことも、心がけていただきたいと思います。

今年七月に実施される中国・青海省への『チャジャジマ峰登山隊』が、友好交流を深めますが、親睦融和が楽しみでもあります。継続して人的交流も出来ないものかと思つています。最後になりましたが、増え続ける登山者により、山がオーバーユース状態となり、自然破壊が進んでいます。自然保

専門委員長 今年の抱負

●総務委員長

七 沢 恭四郎 (高田ハイキングクラブ) 新体制が発足したことに對してできる限りの協力と支援を心がけます。

年間事業の中で、第41回全日本登山体育大会、親睦登山、新年会の三行事に重点を置き、他県や各山岳会との交流を通じて登山技術向上、山岳遭難予防、自然保護運動等の話し合いの場を持ち、和気あいあいの元に相互の親睦を図ります。

●中高年登山委員長

山田 弘二 (下越山岳会)

護委員会が実施する会合に多くの会員から参加していただき、自然保護の精神を植え付けてもらいたいと思つています。これらのやるべき事柄に取り組み、非才ではありますが、努力してまいりますので、どうぞご支援を重ねてよろしく御願ひいたします。

(長岡ハイキングクラブ)

今年度は安全登山教室の内容を充実すると共に協会行事として全県に広め、出来る限り県全域の方々よりリーダーとしての協力を頂いて、人的ネットワークによる内容ある登山教室にしたいと思つています。

●指導技術委員長

阿部 信一

(副会長、新潟山岳会) いつも指導委員会行事にご協力頂き有難う御座います。今年度もよろしくおねがいします。冬山講習会いつも同じ所では、という意見もあり下越地区以外での会場の推薦よろしくおねがいします。

本年度の日程は次の予定です。

- 6/21、22岩登り講習会
新発田市内の倉ダム杉滝岩
2/21、22冬山講習会

場所未定

をメインの行事として年間を通じてスポーツ指導員の養成検定をやる予定です。受験希望者は早めに指導委員会まで申し込みください。

● 遭難対策委員長

榎 井 利 幸
(岐阜山岳会)

昨年三月にまとめた「新潟県山岳協会加盟団体における安全・遭難対策の実態及びその問題点と課題」により、会員の高齢化・若手会員の不足という現実の中で登山活動

の基盤である安全対策・遭難

対策が有効に進められていないことが浮き彫りになりました。委員会では事故発生情報の収集と周知、安全対策の情報交換等を進め、加盟団体の活発な登山活動を支えるための対策フォーラム・実技講習会を開催します。ご協力をお願いいたします。

● 国体委員長

森 庄 一
(副会長、長岡ハイキングC) 第58回静岡国体山岳競技に向け、新潟県予選会から北信

越国体の運営、本大会に向け

た選手強化、さらに二巡目第62回新潟国体に向けた競技役員(審判等)の養成、会場地との調整等の事業を行います。第58回国体山岳競技会新潟県予選会
・安塚町キューピットバレー スキー場、B&G体育館協
・6月7日 縦走
・6月8日 クライミング
第24回北信越国体山岳競技会
・安塚町キューピットバレー スキー場、B&G体育館協
・7月26日 クライミング
・7月27日 縦走

第58回静岡国体山岳競技会

・静岡県水窪町
・10月25日～28日
多数の選手・役員・応援の参加を求めます。

● 自然保護委員長

本 間 一 人
(亀田山岳会)

自然保護研修会も三十五回を数え多くの皆様から参加していただいております。この辺で裸地化の問題、林道やダムの是非についても、山野草の盗掘にも目を向けていきたいと思っております。ご支援の

ほどよろしくお願いいたします。

● クライミング委員長

内 山 豊
(新潟山岳会)

今年度クライミング委員長になりました新潟山岳会の内山です。前任の稲田さんのようにクライミングの経験も人脈も多くなっていますが、自分なりにがんばりたいと思えます。

国体の種目が、スポーツクライミングの一種目だけになるということなので、二巡目国体に向けて、新潟県のスポーツクライミングの普及とレベルアップに力を入れたいと考えています。これからご指導、ご協力よろしく申し上げます。

● ジュニア委員長

渡 辺 正 之
(長岡ハイキングクラブ)

ジュニアの育成は、底辺を広げることが急務です。6年後の新潟国体では、縦走競技が廃止されてクライミング競技だけになります。このことが活動方針に、心理的な面で少なからず影響を与えてきます。小・中学校にと残部がな



頸城平野を望む第四期層の関田山地の山並み

山と岩石

さわがに山岳会 小野 健

② 東頸城地域の新しい第四紀の山

米山東部の、ほぼ南北に走る東頸丘陵地に在る刈羽黒姫山は、黒姫三山の一つですが、米山・八石山と合わせて刈羽三山とも呼ばれています。南部県境の関田山系の中央部には、一等三角点の菱ヶ岳や黒倉山・鍋倉山の双耳峰などがあります。全般に1000m前後の低山ですが、周辺に高い山がないので、頸城平野からは目立つ存在です。山頂には祠が安置され、信仰の山として親しまれてきました。

山体は、新第三紀鮮新世から第四更新世に至る、100万年以降の新しい地層です。山頂部は、米山火山とほぼ同時代の、前期更新世の角閃石輝石安山岩・火砕岩で形成されています。周辺部は、魚沼層群相当の砂泥質岩や、ほとんど固化されていない、フォッサマグナ帯の軟質砂泥堆積層に覆われ、地滑り要因ともなっています。

つまり、固い溶岩質の岩盤で山頂部を形成し、山腹周辺は、崩壊流失を繰り返して、地滑り地形特有の丘陵地がつけられたのです。

い現状から、ジュニアを対象にした登山教室を開催すべきですが、今年度もそれは先送りです。国体で1年が終わることでしょう。

●海外登山委員長

小林 重一
(越後山岳会)

新体制のスタートですが、海外登山委員会では従来取り組んできた「海外登山のステップアップ」を基本に活動していきたいと考えています。

特に中国青海省登山協会とは5ヵ年発展計画を企画しており、今年にはチャジャム峠の登山を行います。今後も韓国など外国との国際親善交流を図り、充実させていきたいと思ひます。また、海外登山の底辺拡大、声援にも努力したいと思ひます。

●婦人委員長

山田 智子
(副会長、越後山岳会)

藤井前会長が、新山協は日山協の加盟団体の中で四番目に位置する組織団体であると言っておられました。婦人委員会が設けられていたのも新潟県のみです。婦人対策部、婦人部、婦人委員会と変わり、近年は年一回の親睦登山の実施ですが、以前は一泊二日の講習会的親睦登山や岩登り講習会なども実施され、その経緯は永きに渡る実績がありま

す。新体制でスタートいたしました。親睦登山へのご理解ご協力をよろしく願ひいたします。

●会報編集委員長

諏訪 恵一
(長岡ハイキングクラブ)

加盟団体と協会との重要な接点である「新山協ニュース」を毎月責任を持って発行すると共に、加盟団体の皆様からの情報発信の場を提供すべく紙面の充実を図ってまいります。身近な情報の提供もよろしく願ひいたします。

また、より多くの方に情報を利用してもらう意味からも休眠状態のホームページも内容の充実と定期的な更新を行うよう委員の体制も整えました。加盟団体ホームページとの相互リンクで相乗効果による活性化も計画していますので、ご協力よろしく願ひいたします。

お知らせ

●第35回自然保護研修会

平成15年5月17・18日

◇講演「入広瀬の山と自然」
(講師・大島一男氏)

◇浅草岳登山

※受付 17日14時

会費2000円

(宿泊なしは、1000円)

◆申込み・問合せ

自然保護委員会 本間一人
〒950-0102 04
横越町横越3366

Tel&Fax 025-385-2225
(締め切り：5月13日)

●C級スポーツ指導員養成

年間を通じて指導員養成検定を計画します。

受験希望者は早めに申込みをお願ひします。

地域スポーツ指導者養成講座(共通科目)受講の申込締切は6月30日です。

◆申込書請求・問合せ
指導技術委員会 阿部信一
〒950-0812
新潟市豊1-11-20

TEL 025-273-1572
FAX 025-273-1588

お願い

●平成15年度分担金早期納入のお願い
協会運営を円滑に行うためには加盟団体の皆様からの分担金が必要です。充実した事業運営のためにご協力をお願ひいたします。

銀行口座
第四銀行長岡市役所前支店
普通預金 1179492
名義 新潟県山岳協会
郵便振替 新潟県山岳協会
口座番号 006501
8112040

●ホームページアドレスをご連絡ください
加盟団体や加盟団体所属の個人の方で山に係わるホームページをお持ちの方は、ぜひホームページアドレス(URL)を会報編集委員会までご連絡ください。協会ホームページからリンクをさせていただけます。

●原稿募集のお願い
山開き案内、行事紹介、記念会報発行、各種情報提供などありましたら、会報編集委員会までFAX、郵送、メールをお願ひいたします。
〒940-0825
長岡市高畑町610番地10
諏訪恵一方 会報編集委員会
Tel&Fax 0258-35-4373
Mail: keiichi@suwa.biz

編集こうき

新しく会報を担当することになりました長岡ハイキングクラブの諏訪恵一です。よろしく願ひいたします。

今号は、橋本新体制スタートにあたり、会長、理事長、専門委員長の抱負でまとめました。毎年主な事業計画を掲載しましたが、今年には評議員会資料に一覧表として添付しました。積極的な計画が盛り込まれていますので、多くの加盟団体各位の参加をお願ひいたします。

登山・アウトドアの専門店



新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025)243-6330(代)

登山・ハイキング・クライミング
テレマーク&山スキー



パーマーク

長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200-FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

http://www.parrmark.co.jp